

経営発達支援計画 令和3年度 評価表

【令和3年4月1日～令和4年3月31日】

【評価指標】

A：達成度 100%以上

B：達成度 80%以上 100%未満

C：達成度 30%以上 80%未満

D：達成度 30%未満

E：未実施

実施期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）					
目 標		<p>【10年後の小規模事業者のあるべき姿】</p> <p>1. 円滑な世代交代が進み、若い経営者が増えている。三次市の創業支援制度や有利な融資制度を活用し、新たな事業が創出されている。</p> <p>2. 魅力ある商品（製品）・サービスが売れ、多様な販路が確保できている。</p> <p>1. 事業承継による世代交代や、起業・創業による新たな事業者の創出</p> <p>少子・高齢化の加速による企業の人手不足、廃業が起業を上回る状況は地域の衰退に繋がり、人材の育成と起業の促進は重要である。三次市の施策等を活用し、円滑な事業承継と成功する創業へ繋げる。</p> <p>2. 商品力向上と売れるしくみづくりの構築</p> <p>人口減少等により、地域経済を支える小規模事業者は需要の低下、売上の減少に直面しており、事業者が地域で経営を持続するため、個社のサービス、強み・弱み、顧客ニーズと市場動向等を分析し、ビジネスモデルの再構築と事業計画策定支援を行い、販路拡大により売上の増加、経常利益の向上に繋げる。</p>					
区分	項目	事業の内容	令和3年度		事業実績	評価	
			目標	実績			
I 経営発達支援事業の内容	3-1. 地域経済動向調査に関する事 【P10】	地域経済分析システム RESAS の活用によるデータ収集と分析	公表回数	1回	0回	地域経済分析システム（RESAS）の活用を活用し、地域の経済動向調査を行った。	E 0%
		管内の小規模事業者の景気動向調査の実施	公表回数	4回	0回	全国商工会連合会が実施する「中小企業景況調査」を31社実施した。また、四半期ごとに提供される「中小企業景況調査報告書」により県内の景況を把握、有効なデータとして事業計画策定等の経営支援の際に活用した。	E 0%
	3-2. 需要動向調査に関する事 【P11】	ギフト商品アンケートの実施（7月、12月）	対象事業者数	6社	2社	地域内事業者の商品等を詰め合わせたギフト事業を2回実施した。販売の際に、ギフト購入者及び受領者双方に「商品に関するアンケート」を実施した。商品に対するニーズ等を出品者にフィードバックした。	C 33.3%
		展示会・商談会アンケートの実施	対象事業者数	2社	1社	コロナ禍、計画していた県外の展示会・商談会への出展は見合わせ、県内において、山陽自動車道小谷SAで実施された「広島県!古今東西えもん市」へ出展し、アンケートを実施し、商品に対するニーズ等を出品者にフィードバックした。 ※アンケート参照	C 50%
	4. 経営状況の分析に関する事【P13】	財務分析、SWOT分析等の経営分析による経営課題の把握	分析件数	60件	75件	ネットde記帳データを活用しローカルベンチマークを作成、経営分析をデータ化し、職員全体で情報共有を行った。	A 125%
	5. 事業計画の策定支援に関する事【P14】	実効性のある事業計画策定に向けて支援を行う 【伴】事業計画策定個別相談会	策定件数	40件	43件	経営分析を踏まえ、実効性のある事業計画策定を支援した。その際、活用可能な支援施策等も提案し、各種補助金等の獲得に繋げた。	A 107.5%
	6. 事業計画策定後の実施支援に関する事【P15】	事業計画の進捗状況に併せて、計画的にフォローアップを実施	対象事業者数	40件	43件	事業計画策定事業者を対象に、フォローアップ時期の設定などスケジュール管理を行い計画的な支援を実施した。	A 107.5%
			頻度	180回	100回	1社12回、1社6回、2社5回、2社4回、9社3回 9社2回、19社1回	C 55.5%
			売上増加事業者数	28社	20社	事業拡大2社、新分野進出4社、設備投資6社、資金投入6社、その他2社	C 71.4%
	7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【P17】	まちゼミの開催	開催回数	2回	1回	三次商工会議所と共催で実施し7社参加した。店主のファンを増やし、店の認知度を向上させることができた。	C 50%
参加事業者数			20社	7社	令和3年度は、まちゼミが全国一斉に同時期に開催されることになったため、単独では未開催。	C 35%	
夏冬ギフト事業（ななまちギフト）		実施回数	2回	2回	地域内事業者の商品等を詰め合わせたギフト事業を7月と12月に実施した。	A 100%	
		参加事業者数	12社	15社	7月 7社7商品 146個販売 12月 8社8商品 149個販売 ※ななまちギフト報告書参照	A 125%	

		展示会・商談会出展支援 【伴】PR 冊子ななまちの作成	出展事業者数	2社	1社	山陽自動車道小谷 SA で実施された「広島県!古今東西ええもん市」へ出展し商品の PR を行った。 出展後、定期的に事後調査を行い成約件数の把握を行った。	C 50%
			売上額	2万円	6.6千円		A 330%
			成約件数	1件	1件		A 100%
		ITを活用した販売戦略の構築	構築件数	2社	2社	多様な販売形態を確立するため、その一つである IT を活用した販売戦略の構築を図るため、「IT を活用した販売戦略セミナー」を開催し、写真・動画を使った効果的なホームページの作成等手法を習得。さらに、2社に対して専門家による個別支援を行いホームページの構築に導いた。	A 100%
II 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上	8. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること 【P20】	評価委員会（2回）検討委員会（1回）の開催	開催件数	3回	0回	未実施	E 0%
		評価結果の公表	公表回数	1回	0回	未実施	
	9. 経営指導員の資質向上に関すること 【P21】	各種研修会、セミナーへの参加	三次市、広島県、広島県事業承継ネットワーク主催の研修会に参加した。				
		OJTによる支援ノウハウの構築	専門家派遣に同行し、専門家から支援に関する知識や手法を学んだ。				
		職員ミーティング及びスキルアップ研修会の実施	毎週月曜日、局長・経営指導員会議を開催。 職員全体会議を4回（4月、6月、10月、1月）開催。 進捗状況を確認し円滑な事業の実施に向けて情報共有を行った。				
		情報のデータベース化	経営カルテの入力を行い、職員全員が支援状況を共有した。				
	10. 他の支援機関との連携を通じた支援のノウハウ等の情報交換に関すること 【P22】	三次市・三次商工会議所・三次広域商工会との業務連絡会議の開催	新型コロナウイルス感染症の影響により、集合による開催には至っていないが、行政、金融機関、他の支援団体と個別に情報交換を行った。				
		金融機関との情報交換					
		商工会備北地域協議会への出席					
	III 地域経済の活性化に資する取組	11. 地域経済の活性化に資する取組 【P22】	地域観光資源の情報発信事業	みよし観光まちづくり機構（DMO）との連携会議へ出席し、観光情報の共有を行った。 観光パンフレットの作成 未実施			
7地域の魅力発見事業		三次市と包括協定を結んでいる広島修道大学の学生による7地域の魅力発見事業として、令和3年度は三良坂地区の商店街を対象に行った。 ※報告書参照					
総 評		<p>【I. 経営発達支援事業の内容】</p> <p>コロナ禍を反映し新たな事業展開や経営改善計画の増加により事業計画を策定する事業者が増加した。事業計画策定においては、個別相談会を利用し実効性のある事業計画の策定を支援した。その結果、各種施策や補助金の獲得につながった。</p> <p>販路開拓支援は、管内事業者の商品を詰め合わせたギフトの販売を行ったが、夏冬ともに予定販売数を大幅に上回り好評であった。コロナ禍で始めた事業であったが、販路開拓支援の核となる事業になりつつある。が、反面、出品事業者が固定化してきており、今後、更に管内事業者の“逸品”を発掘していきたい。</p> <p>商談会・展示会の販促ツールとして作成した PR 冊子「みよし 感じるななまち」は、コロナの影響により完成が遅れ、十分に活用できなかったが、配布先から追加の依頼があり、少しずつではあるが地域内外に商品を PR することができた。今後、その効果（新規取引、売上増加等）については定期的にヒアリングを実施する。</p> <p>【II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援の向上】</p> <p>コロナ禍ではあるが、積極的に行政、金融機関、他の支援団体と情報交換を行い、経営発達支援事業の円滑な実施に向けて取り組んでいく。</p> <p>【III. 地域経済の活性化に資する取組】</p> <p>三次市と包括協定を結んでいる広島修道大学の学生と取り組んだ「三良坂地区魅力発掘プロジェクト」は学生と地域事業者の活発な意見交換を行うことができた。引き続き、検証を行い、各個店の売上向上につなげる。</p>					